

安心・安全な水をつくる

+HOCL

株式会社微酸性電解水研究所

<http://www.bisansei.jp/>

製品・サービス

微酸性電解水 (+HOCL) 生成装置

自動運転

電解水用のタンクと水位センサーを付加すると、電解水の使用に応じて自動的に生成補給します。

外部出力

運転状態を外部に出力する機能があるため離れた場所から運転状態を監視したり、関連システムの自動対応に利用できます。

異常停止

稀釈水が止まった場合、原料が無くなった場合、その他電解状態が異常になった場合は警報を出し状態を表示し停止します。

安全システム

原水供給有無検出
低電流検出
高電流検出
電解液逆流防止



0.36t
生成能力360L/h



0.96t
生成能力960L/h



5t/10t/20t 生成能力
5000L/10000L/20000L/h

経営理念

先進の技術力によって、
「高品質な清浄化」「生態系の保全」
「資源・エネルギーの節約」を実現します。

代表者メッセージ

土井豊彦氏

これまで何種類もの殺菌剤が使われてきましたが、いずれも殺菌効果はあっても、他になんらかの欠点を持っていました。それらの欠点とは、例えば強い毒性や刺激性、残留性、対象への傷害などです。つまり、両刃の剣でした。そのために目的毎にできるだけ副作用の少ないものを選んで使うことになり、多数の殺菌剤が開発されてきたわけです。私共の微酸性電解水には深刻な欠点はありませんので、用途に制限がなく、ほとんどの目的に使用できます。さらに殺菌水は安価です。私共はこの微酸性電解水を世界中に広め、世界の衛生状態向上に寄与できることを願っています。



“エコで安全な殺菌水”

“コストパフォーマンスも抜群”

それが、「微酸性電解水 (+HOCL)」です！

濃度2~6%程度の希塩酸を電気分解した水。無味・無臭でpH5~6.5、塩素濃度10~30PPMの弱酸性。扱いやすく、高い殺菌効果があります。この微酸性電解水 (+HOCL) は弊社代表土井豊彦が発明し、2002年には厚生労働省第75号において「微酸性次亜塩素酸水」の名称で食品添加物に指定されました。

優れた殺菌力

ほとんどの微生物を秒単位で殺菌

一般細菌・食中毒菌・病原菌・真菌・ウィルス糸状菌・細菌芽胞等

高い安全性

人体に無害。無味無臭。味・色・匂い・栄養素に影響を与えない。使用時に塩素ガスの発生なし。水道水と同じように使え、使用後はそのまま廃棄。

ecoで安価

・設備の熱水洗浄や、殺菌後にゆすぎや冷却などの作業がいらない。
・使用後の排水のための中和剤がいらない。
・ランニングコストは、水道代よりやや高い程度

多様な用途



事業概要

現在、主に殺菌剤として使われている次亜塩素酸ナトリウムは、クロロホルムの発生による健康への有害性、廃水処理における環境負荷の大きさが問題となっています。

微酸性電解水 (+HOCL) は、人に有害なバクテリアを殺菌・除菌し、殺菌後は普通の水に戻る、環境にやさしく極めて安心な殺菌水です。この微酸性電解水 (+HOCL) は弊社代表土井豊彦が発明し、2002年には厚生労働省第75号において「微酸性次亜塩素酸水」の名称で食品添加物に指定されました。

微酸性電解水 (+HOCL) の用途は多岐にわたり、殺菌剤として食品加工業、農業、水産業、看護医療等の他、地下水、プール、温泉等にも有効であり、また、除臭、除菌、加湿としても使用でき、工業用から一般用に及ぶ多種多様な用途が考えられます。

弊社は、次亜塩素酸ナトリウムに代わるものとして、微酸性電解水 (+HOCL) が普及し、世界の衛生管理に貢献できるよう、微酸性電解水生成装置の開発、販売をしています。

株式会社微酸性電解水研究所

本社住所：神奈川県藤沢市遠藤4489-105

事務所201・研究室101・102

TEL：0466-52-5912・5913

FAX：0466-48-4123

代表者：土井豊彦 設立：2009年3月16日

資本金：6000万円